

全日本学生ロードレースカップシリーズ第13戦 浮城のまち行田ラウンド 第14回 東京六大学対抗ロード(クリテリウム)大会

2023年12月17日(日) 埼玉県行田市・行田総合公園周辺 周回コース (1 周 2km)

主催: 日本学生自転車競技連盟/東京六大学対抗自転車競技大会実行委員会 運営協力: 一社)埼玉県自転車競技連盟 後援: 行田市/行田市教育委員会/行田市体育協会/行田商工会議所/埼玉県議会/行田市議会/公益財団法人行田市・産業・文化スポーツいきいき財団

コミュニケ3(競技系)

大会チーフコミッセール 古田雅拓 ver 20231213

- 1. 各カテゴリーごとの周回数(距離)および組分け 大会要項を参照のこと。
- 2. ゼッケン・フレームプレートの取付け
 - (ア) ゼッケンの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
 - (イ) フレームプレートは、フレーム前部中央に付けることを原則とする。 中央に取り付けられず左右に寄ってしまう場合は、左側に寄せること。また、どうしてもフレーム前部に取り付け不可能な場合、シートピラーへの 取付けを認めるが、脚で隠れない様に突き出した位置に固定のこと。



3. 女子カテゴリーについて

大会要項に記載の通り、男子クラス3Aと混走とする。

女子選手については男子先頭とのタイム差をもとにした失格・除外は行わない 周回遅れになった場合は男子先頭ゴール後のフィニッシュライン通過順をもって順位をつける

4. ニュートラリゼーションについて

移動審判員により確認された認められる事故の場合、最後の3周を除き1周のニュートラリゼーションが与えられる。

5. 飲食料の補給について

大会要項に記載の通り、飲食料の補給は認めない。

- 6. 器材交換(ピット)について
 - (ア) 競技中の器材交換は、スタートフィニッシュ地点付近に指定されたピットエリア(詳細は当日指示)でのみ、地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。
 - (イ) 落車の原因となるので、ピット区間以外での器材修理および交換は認められない。
- 7. レースの失格・除外について
 - (ア) 原則として、毎周回S/F地点で先頭より30秒遅れた選手は、周回遅れになると見なされ、失格とします。
 - (イ) 周回遅れで失格となった選手は、自らゼッケンを外して(フレーム・プレートは外さない)、競技の妨げにならない様にコース外へ出ること。(特に、コースの逆走は絶対にしないこと。
 - (ウ) 自主的に競技を途中棄権した選手は、フィニッシュエリアの審判に必ず棄権の旨を伝えること。通告のない場合はペナルティーとなる場合があるので注意すること。
- 8. その他
 - (ア) 映像ユニット等を自転車に付加して走行する場合、JCF競技規則第16条3.(2)d)④規定を順守のこと。なお、本大会レース中に撮影された映像の所有権は、原則,日本学生自転車競技連盟に帰属とします。
 - (イ) RCS ポイント総合順位リーダーは、リーダーズジャージを着用して、スタートしなければならない。

以上

